2　地理歴史・公民

学校番号	106

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」　（山川出版社）						
副教材等	図説「日本史通覧」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を前近代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	前近代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめることができる。	前近代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート 観察	定期考査 ワークシート レポート 観察	定期考査 ワークシート レポート 観察	定期考査 確認テスト
	前近代史に対する関心度、調査努力、発表の態度等を評価	資料を分析する力やプレゼンテーション能力等を評価	資料に基づいて発表したり、まとめたりする力を評価	歴史の基本的な用語の意味や流れを身につけているかを評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歴史へのアプローチ	・歴史と資料	○		○	○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 観察
	原始・古代	・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族政治と国風文化	○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:原始・古代の政治や社会、文化について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:大陸文明の影響がいかなる点にあるのかを見出した上で、日本の制度や文化の独自性を多面的・多角的に考察し、その特徴や結果を適切に表現している。 c:原始・古代における必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:原始・古代の政治や社会・文化について、大陸諸文明との交流とも関連づけて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	中世	・中世社会の成立	○	○	○	○	a:律令制の崩壊と武士の台頭や武士社会の成長に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:院政期から鎌倉時代の社会体制の特質を見いだし、経済の発展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:院政期から鎌倉時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:院政期から鎌倉時代の政治や社会文化について、武士やその社会の成長の流れを理解し、基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	中世	・武家社会の成長	○	○	○	○	a:室町時代の政治・社会・文化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:室町時代の政治・社会・文化をそれぞれ関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:室町時代の政治・社会・文化等に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:室町時代の政治・社会・文化を庶民の成長と関連づけて流れを理解し、基本的な知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	近世	・幕藩体制の確立 ・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動揺	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:安土桃山時代の統一事業から幕藩体制の成立、展開、動揺に至る過程、その間の庶民のさらなる成長や文化の開花についての関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:安土桃山時代から江戸時代までの政治・社会・文化をそれぞれ関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 C 安土桃山時代から江戸時代までの政治・社会・文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:安土桃山時代・江戸時代の政治・社会・文化を、武士の支配の確立から動揺、一方で庶民のさらなる成長、さらには対外関係などの変化と関連づけて流れを理解し、基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

3学期	歴史へのアプローチ	・歴史の論述	○	○	○	○	a:これまで学んできた日本の歴史の中から様々な課題に対する関心を高め、特に強い関心をもった課題について、意欲的に追究しようとしている b:自分が関心を持った課題について、政治・経済の動向や対外関係とも関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:自分が関心を持った課題について、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取り、図表や歴史新聞などにまとめることができる。 d:自分が関心を持った課題について、より深く理解し、重要な知識を身につけるとともに、それをわかりやすく文章にまとめる力を身につけている。	レポート ワークシート
	前近代史のまとめ	・原始・古代～近世の歴史のまとめ	○	○	○	○	a:前近代の歴史的事象に関心を持ち、疑問を持ったことについて歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b:前近代の歴史的事象を、様々な角度から考察し、文章や発表で適切に表現している。 c:前近代の歴史的事象を、歴史的観点に基づく必要な資料・情報を収集し、図表にまとめたりしている。 d:前近代の歴史の基本的な知識とその流れを理解している。	レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。